

# イチゴ定植時期予測

## 三重・JA伊勢花芽を検査

【三重・伊勢】JA伊勢は、JA玉城・度会農機センターで、イチゴの花芽検査を始めた。顕微鏡を使って花

芽の状態を観察して定植時期を予測するためのもの。

初日の12日には、JA職員と県伊勢志摩地



顕微鏡を使って花芽の状態を検査する普及センターの職員

域農業改良普及センター職員が、JAいちご部会のメンバーが持ち込んだ検体67件の花芽の状態を観察した。顕微鏡を使って、葉を一枚ずつめくりながら、葉数と花芽の分化の進みを確認。苗や葉の大きさなどを計測した。

JAの担当職員は「検査は定植時期を決めるのに大切な作業。適期に定植を行うことで、クリスマスなどの需要に対応できるようにしたい」と話す。

JA管内では、「かおり野」や「章姫」「レッドパール」などを栽培している。